

平成18年度学術創成研究費 事後評価結果

研究課題名	サイトカインのシグナル制御機構とその破綻	研究代表者名	吉村 昭彦
-------	----------------------	--------	-------

1 研究計画、目的の達成度について

当初の研究計画、目的に照らし、採択時以降の関連分野の学術動向を踏まえた上で、その達成の度合いはどうか。

- ア ( ) 予定以上に達成した
- イ ( × ) 概ね予定どおり達成した
- ウ ( ) 一部不十分である
- エ ( ) 達成していない

意見：  
CIS/SOCS ファミリー分子を中心に免疫系の正負の制御機構に関して顕著な成果を挙げた。より焦点をしばって現象を深く掘り下げることが推奨される。

2 当該学問分野及び関連学問分野への貢献度について

当該学問分野及び関連学問分野における研究の発展に関し、貢献の度合いはどうか。

- ア ( × ) 十分に貢献できた
- イ ( ) 概ね貢献できた
- ウ ( ) 一部貢献できた
- エ ( ) 貢献できていない

意見：  
質の高い研究論文を通して当該及び関連分野の発展に貢献した。

3 研究成果について

(1) 学術創成研究費の趣旨及び当初の研究計画、目的に照らし、学術創成研究費としての意義ある成果をあげたか。(又はあげつつあるか。)

- ア ( ) 非常に高く評価できる
- イ ( × ) 概ね高く評価できる
- ウ ( ) 一部高く評価できる
- エ ( ) 高く評価できない

意見：  
若干研究内容は分散傾向がみられるが、学術創成に値する多くの優れた成果を挙げている。

(2) 研究成果の普及性、波及性はどうか。また、研究成果の積極的な公表に努めているか。

- ア ( × ) 非常に高く評価できる
- イ ( ) 概ね高く評価できる
- ウ ( ) 一部高く評価できる
- エ ( ) 高く評価できない

意見：  
質の高い論文を発表し、高い波及効果があったと評価出来る。

#### 4 研究課題の総合的な評価

該当欄		評価結果
	A +	期待以上の進展があった
×	A	期待どおり進展した
	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

##### 総合的な評価意見：

競争の激しい分野で CIS/SOCS ファミリーを中心にサイトカイン・シグナルの分野で重要な研究成果をあげ、一流の国際雑誌にそれらの成果を公表してきた。研究分野は若干分散傾向があり、今後焦点を絞って深みのある研究に発展することを期待したい。